

# 市議会 だより



No. 71

平成23年2月

## 目次 CONTENTS

- 平成22年12月定例会 議案審議結果 …… 2P
- 議案の概要 …… 3P
- 一般質問 …… 4~11P
- 常任委員会視察報告・編集後記 …… 12P



## 第10回 豊前市野球教室



議会へのご意見をお寄せ下さい

豊前市大字吉木955 TEL.82-1111 内線1311  
<http://www.city.buzen.fukuoka.jp>

# 平成22年12月定例会 議案審議結果

議会改革の一環として、議決の責務を明確化するため議員一人ひとりの賛否を掲載するようになりました。

「○」……賛成 「●」……反対  
「議長」……議長職のため表決に参加しない

| 議案番号    | 議案等の名称  | 審議結果 | 福 | 鎌 | 岡 | 榎 | 今 | 尾 | 山 | 古 | 爪 | 磯 | 渡 | 中 | 山  | 秋  | 尾 | 岡 | 吉 | 賛  | 反 |
|---------|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|---|---|---|----|---|
|         |   |      | 井 | 田 | 本 | 本 | 本 | 澤 | 崎 | 川 | 丸 | 永 | 邊 | 村 | 本  | 成  | 家 | 田 | 永 |    |   |
|         |   |      | 昌 | 晃 | 清 | 義 | 文 | 満 | 廣 | 哲 | 裕 | 優 | 一 | 希 | 一郎 | 信  | 啓 | 義 | 宗 |    |   |
| 議案第69号  | 豊前市議会委員会条例の一部改正について   | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 議案第70号  | 豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について                          | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 議案第71号  | 豊前市職員の給与に関する条例等の一部改正について                                    | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 議案第72号  | 豊前市空き地等管理の適正化に関する条例の一部改正について                                | 修正可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 議案第73号  | 豊前市道路線の認定について   | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 議案第74号  | 辺地総合整備計画の変更について   | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 議案第75号  | 平成22年度豊前市一般会計補正予算(第3号)                                      | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 議案第76号  | 平成22年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)                              | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 意見書案第3号 | ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書(案)の提出について                 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 意見書案第4号 | 脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書(案)の提出について                           | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 16 | 0 |
| 請願第1号   | 農業に対するTPP(環太平洋経済連携協定)交渉への不参加等を求める意見書の提出に関する請願【継続審査に対する審議結果】 | 継続審査 | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 議長 | ○ | ○ | ○ | 15 | 1 |

請願第1号については、『継続審査』に対する賛否を問いました。

## 議案の概要

平成22年第4回定例会は、11月29日から12月14日までの16日間の会期で開催されました。本定例会には、条例4件、予算2件、その他の案件2件の合わせて8議案が提出され、7議案が原案どおり可決され、1議案が修正可決されました。意見書案は、2件が議員提案され、原案どおり可決されました。また、請願が1件出ていましたが、継続審査となりました。

### 継続審査となった請願

#### 農業に対するTPP(環太平洋経済連携協定)交渉への不参加等を求める意見書の提出に関する請願

わが国の農業に対して壊滅的な打撃を与えかねないTPP交渉に参加しないことを趣旨とする請願でしたが、産業建設委員会において「農業問題を考えると請願の趣旨は理解できる」との意見が出た一方、「その他の産業で考えると今回の交渉は企業に有利に働く」との意見が出て、国の動向を見極めながら、さらに議論する必要があるということで、継続審査となりました。

### “市議会の委員会条例”が一部改正されました!!

今までの委員会は、委員長の許可を得た人だけが傍聴していましたが、今後は原則公開となりましたので、どなたでも傍聴できます。

### 12月議会において議決された意見書の趣旨

#### 「ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書」

ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)は、致死率の高い「成人T細胞白血病(ATL)」や、進行性の歩行・排尿障害を伴う「脊髄疾患(HAM)」等を引き起こします。一度感染すると現代の医学ではウイルスを排除することができず、いまだに根本的な治療法は確立されていません。

政府におかれましては、HTLV-1の感染拡大防止に伴う「HTLV-1総合対策」を推進するため、以下の項目について早急に実現するよう強く要望いたします。

#### 記

- 医療関係者や地域保健担当者を対象とした研修会を早急を実施すること。
- HTLV-1母子感染対策協議会を全都道府県に設置し、検査体制、保健指導・カウンセリング体制の整備を整えること。
- 相談支援センターを設置し、感染者および発症者の相談支援体制の充実を図ること。
- 感染者および発症者のための診療拠点病院の整備を推進すること。
- 発症予防や治療法に関する研究開発を大幅に推進すること。
- 国民に対する正しい知識の普及と理解の促進を図ること。
- 発症者への支援、福祉対策を推進すること。

※ 送付先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

#### 「脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書」

脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ外傷等の身体への強い衝撃が原因で、脳脊髄液が漏れ、減少することによって引き起こされます。しかし、本症の治療に有効であるブラッドパッチ療法については、いまだ保険適用されず、高額な医療費負担に、患者及びその家族は、依然として厳しい環境におかれています。

国においては、脳脊髄液減少症の診断及び治療の確立を早期に実現するよう、以下の項目を強く求めます。

#### 記

- 症例数において中間目標(100症例)が達成されたため、本年度中に脳脊髄液減少症の診断基準を定めること。
- 来年度(平成23年度)に、ブラッドパッチ治療を含めた診療指針(ガイドライン)を策定し、ブラッドパッチ療法(自家血硬膜外注入)を脳脊髄液減少症の治療法として確立し、早期に保険適用とすること。
- 脳脊髄液減少症の治療(ブラッドパッチ療法等)を、災害共済給付制度、労働者災害補償保険、自動車損害賠償責任保険の対象に、すみやかに加えること。

※ 送付先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣、国土交通大臣、文部科学大臣

# 平成22年第4回(12月)定例会 一般質問

| 12月6日(月) |                      |   | 12月7日(火) |                              |  |     |      |                                   |
|----------|----------------------|---|----------|------------------------------|--|-----|------|-----------------------------------|
| 豊友会      | 磯永優二<br>中村勇希<br>榎本義憲 | 高齢者対策及び住民サービスの充実<br>駅前整備等<br>耕作放棄地対策<br>企業誘致と地場産業育成<br>スポーツ施設の整備等 | 同志会      | 渡邊 一<br>岡田義則<br>爪丸裕和<br>福井昌文 | 情報公開<br>教育のあり方<br>住民サービス向上<br>企業誘致<br>農業問題 |     |      |                                   |
|          |                      | 新世会   |          |                              | 山崎廣美<br>秋成茂信<br>今本文徳                       | 無会派 | 鎌田晃二 | 市営住宅入居<br>学校教育<br>脳脊髄液減少症<br>鳥獣被害 |
|          |                      |   |          |                              |  |     |      | ぶぜん風の会                            |

一般質問は、各定例会(年4回)ごとに行われます。質問は、市民生活に大きく影響します。議会の様子を是非傍聴してみてください。また、色々な感想や意見をお聞かせください。

## 豊友会 の質問

### 高齢者対策及び 住民サービスの充実

**榎本議員** お年寄りの方や障害を持った方が市役所に来た時に、テーブルを低くして、いすに座って話ができるようにしてはいいかがか。

**市長** カウンターの高さが高いという指摘がある。いすは背もたれがあった方がよいと思うので、検討してみたい。

**榎本議員** 市役所に出生や転入・転出などの手続きに来たときに、一つの窓口でそれができるようにしてはどうか。

**総務課長** 過去にも検討したが、実施に至っていない。住民サービスの向上を念頭に、十分検討していきたい。

**榎本議員** 宇島駅など、市役所以外でも住民票などが交付できるようにしてはいいかがか。

**総務課長** 民間事業者が行う場合、職員が常駐し、不測の事態に対しては、臨機に対応できる体制をとっておく必要がある。先進地の状況を調査研究する。

**榎本議員** 公民館にAED(除細動器)を設置しているが、使い方についての研修は徹底できているのか。

**総務課長** 広域消防に依頼して、30名程度を対象に約3時間行っている。

**榎本議員** 豊前に住んでいてよかったなと思っていただけのように、市民に対し、温泉入浴券の無料交付や公共施設の無料化など、特権を作ってはどうか。

**市長** 無料がいいとは必ずしも思わないが、豊前市民なら特権があるぞというのは、検討してみよう。

**榎本議員** 市民の生命と財産を守るために、防災無線の整備を訴えてきたが、その後の経過についてお聞きしたい。

**総務課長** 来年度に防災無線の電波伝達の調査を行い、その結果を踏まえ、再来年度から整備に着手したい。

**榎本議員** 買い物に行きたくても行けない方が市内にはたくさんいるようだ。他の自治体では宅配サービスをやっているところが多いと聞く。豊前市も取り組んでいいかがか。

**まちづくり課長** 宅配サービスは、商店街にとっても大きなチャンスになると思われるので、商工会議所と行政と一体となつ

て協議を進めていきたい。

### 駅前整備等

**榎本議員** 駅に降り立つと、その市の顔が見えるといわれるが、宇島駅前には非常に殺風景だ。駅前整備或いは区画整理事業を再度検討してはどうかか。

**まちづくり課長** 宇島駅は市の玄関口であり、周辺整備を進めていく必要があると考えるが、区画整理事業が白紙撤回され、その後話し合いが持たれていない。今後は、北高跡地の開発と中心市街地との連携等について協議ができる体制づくりを進めていきたい。

**榎本議員** 駅の駐輪場は、最近よく整備されているようだが、いまだに盗難が絶えないので、有料にして、盗難対策を講じてはどうかか。

**財務課長** 都会ではそうしたところも多く見受けられるが、市民負担が発生するということもあり、全国の事例を勘案しながら、慎重に検討したい。

**磯永議員** 北高跡地の有効利用が進む中、駅前から北高跡地を結ぶ街路の計画を今こそ実現すべきではないか。

**市長** この街路の計画は、かな

り前からあったが、今回北高跡地という新しい要素ができたので、来年度きちつと検討してみたい。



宇島駅

### 耕作放棄地対策

**榎本議員** 豊前市は農業の盛んな地域だが、最近荒れ地になっている農地が多い。農業委員さんなどがパトロールをやっているようだが、他にどのような対策をしているのか。

**農業委員会局長** 耕作放棄地に対しては、農地を耕したり、草刈りをするようお願いするとともに、農業の担い手への集積を図るなどの対応をしている。

**榎本議員** 農地のデータベース化を図り、農地のことが一目瞭

然でわかるように一元的に管理してはどうかか。

**農業委員会局長** 現在、農地情報台帳は整備しているが、検討の上さらに充実してそういう方向に持っていきたい。

**榎本議員** 荒廃農地対策として、モロコシの養殖はどうか。稲作の2倍の収益があり、労力もそれほど必要ないようなので、検討してはどうかか。

**農林水産課長** モロコシの養殖は、今注目を浴びている。豊前市でも新しいものに取り組んでいきたい。

### 企業誘致と地場産業育成

**榎本議員** 東部工業団地の拡張に当たり、今にも土地を購入するかのような話をしておきながら、拡張の話が立ち消えになったことを地元にはなんら説明をしていない。大きな行政不信を招いているが、その後どういう対応をしたのか、伺いたい。

**まちづくり課長** リーマンショック以降、経済の著しい落ち込みを受けて、方針がはっきり定まらず説明会を開催できない時期があったが、今年度より進入道路の整備を行い、今後の年度計画ができた段階で、地元説明

会を開催したいと考えている。  
**榎本議員** 説明会ができなかったのなら、その理由を地元で説明すべきだ。配慮が欠けていると思うが、いかがか。  
**市長** そのことを整理、釈明しながら、話を進めていきたい。  
**榎本議員** 豊前市に企業が進出した場合、豊前市民の雇用に対し補助金を出したらどうか。  
**市長** 都市間競争に負けないように、企業誘致・少子化対策に取り組みたい。

### スポーツ施設の整備等

**磯永議員** 築上中部高校跡地のグラウンドは県がかなりの投資をして整備しているのに、グラウンドとしては超一流だ。もう少し整備をして有効に活用してはどうかか。

**市長** 少年野球チームが練習や試合で使用するのは結構だが、常設の設備を整備するのは慎重に考えたい。

**磯永議員** バックネットをもう1つ作れば子どもなら2試合同時にできる。また、あそこにはトイレがない。最小限の投資をして有効活用を図るべきだと思う。

**磯永議員** 部活とは別に、野球

やサッカーなどクラブチームに入って一生懸命頑張っている中学生もいる。そういう子どもたちにも高校入学の推薦や特待制度が使えるようにしてはどうかか。

**教育長** 子どもの進路を保障する上で、調査書に記入することは大事なことだと思っている。

**磯永議員** 大事だと思うかどうかではなくて、実際にやっているのか伺いたい。

**教育長** 学校教育活動外のことでは、調査書には記入していないと承知している。

**磯永議員** 学校の部活とクラブチームの違いはあるとはいえ、スポーツに熱心に励んでいる子どもたちを平等に推薦すべきではないか。

**教育長** 学校外のことも調査書には記入できるようにしているので、中学校にそのように指導していきたい。

**磯永議員** スポーツの振興を図るため、各種スポーツ施設を子どもが使用する場合は、使用料を無料にしてはどうかか。

**市長** 検討してみる。



# 新世会 の質問

## 学校の統廃合

**山崎議員** 今回の新世会は、第4次豊前市総合計画の中の学校教育に関する質問をしたいと考えている。まず、総合計画の中に学校規模の適正化を掲げているが、小中学校の統廃合に関する話しは行われているのか。

**教育課長** 今のところ統廃合に関する話しは行っていない。

しかし、小規模校には、校区に關係なく通学できる小規模特認校制度を採用し、児童数の増員を図っている。

**山崎議員** 第4次総合計画が作成されているから約8年が経過しようとしているが、なぜ統廃合に関する話しは行われていないのか。

**教育課長** 地域から公共施設、特に学校や医療機関がなくなれば子育てをする若者が定着しなくなる。住宅政策や過疎化対策等の地域振興との関係から、なかなか話し合いが行われなかった。

**山崎議員** 保護者や児童生徒がどのように考えているのか調査するためにアンケートを実施し、教育委員会等で話し合いを行うべきと思うが、教育長の考えを聞きたい。

**教育長** 小中学校の統廃合については全く話し合われていない状況である。教育委員会で議論し、アンケート調査を実施したい。

## クラブ活動

**山崎議員** 数年前のサッカーの大会で、予選は市内のグラウンドで行ったが、決勝は他の大会と重なったため市外のグラウンドで実施したと聞いたことがある。遠方からこの大会のために豊前市に来ているのに、市外のグラウンドを使わせるなんて市の配慮が足りないと思うがどうか。

**教育長** 県外から多数のチームが参加するような大会を開催する時は、事前に知らせてもらえば、今後は配慮等をしたい。

**山崎議員** 市内のクラブチームが市にマイクロバスの借用を申し出ても、豊前市では貸してもらえないと聞いた。なぜ貸出せないのかお伺いしたい。

**財務課長** マイクロバスの貸出しについては、白タク行為に該当するため貸し出してはいない。

**山崎議員** 他の自治体では貸出しが出来ているのだから、豊前市でも貸出しをお願いしたい。また、遠征費についても、他の自治体では助成をしている。豊前市でもお願いしたい。



## いじめ・不登校対策

**山崎議員** 豊前市でのいじめと不登校の現状を聞きたい。

**教育長** 平成21年度は、いじめについてはなかったが、不登校については数件報告があった。

**山崎議員** 以前、市内で不幸な事件が発生している。いじめや不登校に対するアンケートなど

を実施しているのか。

**教育長** 教育委員会や教職員は以前の事件を重く受け止めており、いじめなどに対しては厳格に対応している。アンケートについては各学校で年2回実施している。

**山崎議員** いじめや不登校に対する相談窓口はあるのか。

**教育長** 市教育委員会でも対応しているが、市民会館2階の適応指導教室で専門のスクールカウンセラーが相談を受けている。

## 小中学校の体験学習

**山崎議員** 小中学校で実施している福祉体験や職場体験には、市の補助はあるのか。

**教育長** 福祉体験や職場体験には補助はないが、アンビシャス広場や通学合宿には補助がある。

**山崎議員** 補助事業が無いにしても、体験学習は大切と思うので、中学生には福祉や職場、保育などの体験学習を、小学生には農業や福祉などの体験学習をさせたいと思うが、教育長の考えを聞きたい。

**教育長** 全校生徒が一斉に体験学習を実施するのは難しいと思

うが、卒業するまでに全員が出来るように支援をしていきたい。

## 中学校の給食指導

**山崎議員** 教育課程等を踏まえた中学校における給食時間の位置付けはどうなっているのかお聞きしたい。

**教育長** 小中学校における教育指導計画の中に食に関する指導推進計画を位置付けており、規律ある学校生活を送り、確かな学力を身につける生徒育成の環境としての食に関する指導目標を掲げている。

**山崎議員** 小学校では全教職員が教室で子供たちと一緒に給食を食べて給食指導をしているが、中学校ではどのようにしているのかお聞きしたい。

**教育課長** 中学校においても、学級担任が給食指導をしていると聞いている。

**山崎議員** 本場に給食指導をしているのか抜き打ちで教育委員が学校訪問をすべきと思う。また、中学校では好き嫌いなどで給食の残さいが多く出ていると聞くので、給食指導をすべきと思う。

## 中学校における道徳

**今本議員** 中学校における道徳教育の指導計画についてお聞きしたい。

**教育長** 中学校の道徳教育は、  
一、自分自身に関すること。  
二、他の人との係わりに関する  
こと。  
三、自然や風光に関すること。  
四、集団や社会に関すること。  
以上の4つの領域で年間指導計画をたてて実施している。

**今本議員** 中学校でも、小学校が実施している週学習指導計画を採りいれて、授業の計画と実績がわかるような資料を提出させたらどうか。

**教育長** 今後は、授業の実施内容がわかるような資料の提出を指導していきたい。

## 来年度の 教職員人事異動方針

**今本議員** 本年度の教職員の人事異動について、教育長が100%と思うような異動ができたのか聞きたい。

**教育長** かなりの部分で思うような異動ができたと考えるが、

反省点もたくさんある。

**今本議員** 来年度の異動方針が県から通知されているのなら教えてほしい。

**教育長** 県から教職員の人事異動について、「変化の激しい時代の中で学校の活性化や特色ある学校づくりなどの教育改革を推進し、本県教育の充実と発展を図るため、人材の適正な配置に努めること。」との方針が示されている。

## イベント会場における 「障害者用」のトイレ

**今本議員** カラス天狗祭などのイベント会場に、車イスなどの障害者用のトイレの設置の有無をお聞きしたい。

**教育長** 全ての社会教育関係の施設には障害者用のトイレを設置している。

**まちづくり課長** カラス天狗祭の会場である天地山公園は、芝生広場横のトイレと多目的グラウンドのトイレは障害者用となっているが、その他のイベント会場のトイレは障害者用となっていないものがあるので、設置を検討していきたい。

## 風のぜんの 質問

### 安心・安全・住みたく なる町づくり

**山本議員** 合河にある養鶏場からの悪臭に対し、苦情が聞かれる。臭いの原因である堆積した鶏糞を肥料として使い、その肥料で飼料米や農作物を作る「循環型農業」への取り組みについて進捗があれば聞きたい。

**農林水産課長** まずは鶏糞の量を減らす努力が必要で、鶏糞の価格等の課題もある。現在、この取り組みが出来るよう養鶏業者にお願しているところである。

**山本議員** 養鶏業のほか、畜産業の堆肥についても同様で、農家と連携し取り組んでいけると思う。「循環型農業」で鶏糞公害や畜産公害等が少なくなり、付加価値のついた農作物が生産できるよう対策を行ってほしい。

**山本議員** 北高跡地の新産業ゾーンだが進捗状況や全体のまちづくりについて聞きたい。

**まちづくり課長** 大和リース株式会社と出店テナントとの最終合意が行われるよう、市としても支援し来年夏以降のオープンを目指したい。全体としては、コンパクトシティを実現させていくという構想のもと計画を進めているところである。中心街の一部として歩いて回れるまちづくりを目指したい。

**山本議員** 北高跡地に、豊前・築上医師会が移転したいとの話があるがどうなのか。

**まちづくり課長** 移転先として北高跡地にとの要望があり、医師会が施設の基本設計や建物の検討をしている。今後、借地等について協議していく方向である。

**山本議員** 現在、農業用の利水として使っているため池だが、景観やハイキングゾーン等、その活用についているんな役割があると思うがどうか。

**農林水産課長** 防炎的な役割をしているため池や環境、公園の役割をしているため池もある。今後は、農業用に限らず多面的に活用することも時代の流れだと思ふ。

**岡本議員** 公民館等で盗難被害が起こっている。山間部は外灯が少なくとても暗いが、どのような対策をしたのか。

**教育課長** 岩屋活性化センター

で車上あらし等があり、駐車場に外灯と感知式の外灯を設置した。各公民館や体育施設には、車の施錠や貴重品管理の注意を促している。

**岡本議員** 豊前市のホームページの中で、市の写真やイベント情報の管理や校正などもっと充実すべきだと思ふがどうか。

**総合政策課長** 豊前市のホームページは、10月にリニューアルした。新たなシステムのもと、統一したデザインで内容も充実するという形で進められてきた。今後は各課と検討会を持ち、内容の充実に向けて議論していきたい。

## 施設の在り方

**山本議員** ごみの収集業務や火葬場の管理運営だが、民営化した場合の人員費や経済効果を聞きたい。

**生活環境課長** 民営化については、市長や関係者と協議しながらメリット・デメリットをよく精査して考えていきたい。

**山本議員** 民営化して行政がしっかり監視・監督をすれば、住民の信頼に込えられ、うまく運営できると思ふがどうか。

**生活環境課長** ノウハウがある

業者に民間委託し、住民サービスを低下させないことが一番である。市の指導や監視体制がしっかりすれば、民営化もできると思う。



**尾澤議員** 図書館の指定管理者は、来年3月末の契約となつている。民間委託してどのようなメリットがあつたのか伺いたい。

**教育課長** 指定管理者制度の導入は、民間活力を導入し、なおかつサービスと経費節減ということが大前提である。今の時点では経費節減が一番のメリットだと思う。

**尾澤議員** 指定管理者制度となつたが、図書館のサービスが向上したのか疑問である。他の図書館との連携やボランティアの協力、行き届いたサービスをするのが図書館の原点だと思う。

## 教育問題

**岡本議員** 中学校の統合問題だ

が、1校に統合し旧築上中部高校跡地を利用するという答申が出されている。しかし環境や文化・伝統を残すためにも、地域の中で義務教育を卒業するという形が本当の教育だと思うがどうか。

**教育課長** 教育に関する考えは多様化している。統合問題については、保護者や子供達の意見を聴き、通学区域審議会でも議論して考えていきたい。

**岡本議員** 山間部の学校は人数が少なくなり、クラブ活動の問題もある。そこで人口増対策として、観光開発や田舎のほうにも市の分譲地を作つてもらおうなど、子供達が増えていく環境を整えてはいかかがか。

**市長** 今後、横武小学校の前に市の分譲地が出るが、今のところ合河や岩屋に作る考えはない。築上町との道も繋がり、ト仙の郷や求菩提の観光もあるが、山間部にも観光名所だけでなく人が住めることも考えていきたい。

**尾澤議員** 千束中学校の授業日数や時数だが、通知表等で調査した分と違いがあるがどうなのか。

**教育長** 学校が教育委員会や京築教育事務所に報告した数に違いがあれば、何故か精査しなければならぬ。

**尾澤議員** また、5時間目の授業が終わつた後、15分ほどのミニテストをしてそのまま帰宅するというやり方をしていた事について、これを授業時数に加えることができるのか。

**教育長** 例えば、朝読書10分を5日間すれば50分で1時間の授業をしたことになることから、同じような考え方で、これも授業時数に加えることができる。

**尾澤議員** 最近、授業時数の問題が発生したことで、6時間目まで授業をするようになり、生徒は混乱している。今後は、教育現場の改善を進めていってもらいたいかがどうか。

**教育長** この問題について保護者より指摘があつた。決められた時間を使い、授業をするのが教職員の使命である。校長会を通して、あるいは現場に向いて行き、授業時数や内容についてしっかりと指導していきたい。

**尾澤議員** 大村小学校は小規模特認校の指定を受けているが生徒が来ない。地元の人もがんばっているが、限度がある。早めに小・中学校の統廃合問題を考え、将来のビジョンを出すべきではないか。

**市長** 同じゾーンの荒堀や野田地区は人口が増えているが、大村地区は増えていない。いろいろな課題はあるが、考えていき

たい。

**尾澤議員** また、この付近は天光山公園もあり自然豊かで、すばらしい環境である。今後、高速度道路が通ることにより残地等ができると思うが、分譲地を作るといった考えはないか。

**市長** 以前、市営住宅を建てる話があつたが、地元の反対があり出来なかつた経緯がある。この件についても真剣に考えていきたい。

## 同志会の質問

### 情報公開

**福井議員** 先日、県内自治体の情報公開度ランキングの発表があり、豊前市は昨年同様ワースト4位だった。そのことをどのように考えているのか、お尋ねしたい。

**総務課長** 市民オンブズマン福岡が実施した情報公開度に関する調査で、県下61の自治体のうち58位となつており、市の中では最下位だった。現在、3月議会での情報公開条例の見直しを

検討中だ。

**福井議員** 改善に向けての対応策は何か。

**総務課長** 個人情報保護条例と情報公開条例の内容に整合性が欠けている点や情報公開請求権者に制限があること等の改正、請求資料のコピー代の値下げ、例規集及び交際費等のインターネットによる公開を行い、透明性、利便性の向上を図りたい。

**福井議員** そのような取り組みで、ワースト4位は改善されるのか。

**総務課長** 例規集等のインターネットによる公開によりポイントが加算され順位は改善されると思うが、低位の団体も改善を行うと思う。市としては、この調査にとらわれることなく、開かれた行政の推進と情報公開に取り組みたい。

### 教育のあり方

**福井議員** 千束中学校では、7月の3連休前の2日間で三者面談をすることにより実質5連休となつている。不況の折、共働きの家庭が多く、また、学力低下が懸念される中、保護者から三者面談をなぜ一日休校にするのかとの不満の声が上がってい



る。教育委員会の考えをお尋ねしたい。

**教育課長** 三者面談については、学習状況、進路に関する説明、長期休暇の過ごし方の確認などを目的として実施している。学校によってそのやり方は異なるが、千束中学校に限らず、長期休業前の平日を使って、各学校で実施している。

**福井議員** 平日を休校にして三者面談を実施するのではなく、授業時数確保から、夏休みに入ってから行うというやり方があると思うがどうか。

**教育課長** 夏休み期間中だとクラブ活動や各種大会があり、その調整等が必要になり難しいと思う。

**爪丸議員** 午前中に授業を実施し、午後から三者面談をしている学校もある。千束中学校は一日休校としているが、授業時数は確保できているのか。

**教育課長** ある学校では、午後から3日間使い三者面談を実施している。千束中学校の場合は2日間のため、授業時数は確保できていると思う。

**爪丸議員** 今回の件は、保護者から苦情があったため、福井議員が一般質問を行った。そのことを十分理解し、学校への指導をお願いしたい。

## 住民サービス向上

**福井議員** インフルエンザが流行した場合、福祉施設ではどのような対処がされているのか。

**福祉課長** 市としては指導できないようになってきているが、県の指導を受けていきたい。

**福井議員** インフルエンザの発病により、配食サービスができない場合の対策はどうなっているのか。

**福祉課長** 配食サービスに携わる人々には、感染予防に特に注意していただいて、サービスを継続できるようにしていきたい。

**福井議員** 少子・高齢化や過疎地域の拡大が進み、交通手段を持たない高齢者が増え、買い物弱者となっていると聞く。市としての支援策をお尋ねしたい。

**まちづくり課長** 商店街連合会や商工会議所と、今後どのような取り組みができるのかを協議している段階だ。

**渡邊議員** 道路に木が覆いかぶさっていて通行に支障がある場合の撤去方法を伺いたい。

**建設課長** 民有地からのものは所有者に剪定をお願いしている。ただ、所有者が遠方だったり、行方不明のケースもあり、

市としては私有財産のため撤去できずに苦慮している。

**環境課長** 市では「空き地等の管理に関する条例」を制定しており、その中で行政代執行ができるようになってきているが、全国でも実際に実施した例はあまりないので、税金を投入して撤去するかどうかと判断している。

**渡邊議員** 審議会で了解した場合、公共の福祉のため税金を投入するか、お聞きしたい。

**財務課長** 審議会で、税金を投入するという判断が下れば、予算化するという話になると思う。

**市長** そういう審議会等で判断することはいいことだと思う。

**渡邊議員** 困っている市民のためにも、そういう審議会を是非スタートさせてほしい。

## 企業誘致

**爪丸議員** 企業誘致の取り組みで、能徳工業団地の拡張計画があったが、現在の状況をお尋ねしたい。

**まちづくり課長** 用地買収が一部完了しておらず、引き続き交

渉を行っている状況だ。

**爪丸議員** 交渉中とのことだが、残り取得が可能なのか。

**まちづくり課長** 売ることに反対ではないとのこと。ただ時期を待つてほしいと言っている。

**爪丸議員** 早期取得に努力してほしい。

次に、東部工業団地について、工場拡張などを希望している企業があると思うが、工業団地の拡張計画はあるのか。

**まちづくり課長** 寿屋フロンテの北側の拡張を計画している。

**爪丸議員** 拡張計画のスケジュールはどうなっているのか。

**まちづくり課長** 農振除外の協議や文化財の発掘等があるもので、3年ぐらいの予定で整備を行いたいと考えている。



能徳工業団地

## 農業問題

**爪丸議員** 今からの日本は、農

産物をブランド化し、攻めの農業で海外に進出していかなければいけないと思う。そのため、市の農地等の整備が大切になってくる。市は、ほ場整備事業を進めてきたが、現時点の農地の整備状況を伺いたい。

**農林水産課長** 昭和61年からほ場整備事業を実施しているが、現在772haが完了しており、市の耕地面積の37%だ。

**爪丸議員** 灌漑対策として市には溜池が多数ある。溜池の整備状況も伺いたい。

**農林水産課長** 市には溜池が110箇所ある。整備を進めているが、地元負担や農家の高齢化等あり整備がなかなか進まない状況だ。

**爪丸議員** 農地取得の下限面積40aの撤廃を特区申請してみているかどうか。

**総合政策課長** 構造改革特区の中で農林から提案があがっていたが、今回のものを追加することは可能と思うので、国の動向を見ながら検討していきたい。

**爪丸議員** 魚沼産コシヒカリが日本では1俵3万円程度というが、中国では6万円売られているそうだ。日本はもう守りの農業では駄目だ。今からはグローバルに目を向けて、攻めの農業で世界に進出するような取組を期待したい。

# 無会派 の質問

## 市営住宅入居

**鎌田議員** 以前議会で、母子家庭、住宅困窮者など何回も抽選にはずれた方々に対し、入居や抽選方法の改善についてお聞きしたが、その後の対応を伺いたい。

**建設課長** 平成21年4月から、障害者や就学前児童のいる世帯、20歳未満の子を扶養しているひとり親世帯については、2回抽選ができるよう倍率優遇措置を導入した。

**鎌田議員** 住宅管理条例に、住宅に困窮する実情を調査し、困窮する度合いの高い方から入居者を決定するところがあるが、実際に調査をしているのか。

**建設課長** 現在は、実情調査まではしていない。今後、困窮度の評価基準を作成するなど検討していきたい。

**鎌田議員** 以前、車の中で寝泊りしていた母子がおり、優先的に入居をお願いしたが断れたことがある。条例では、火災や緊

急時の場合、市長が割り当てた市営住宅に優先的に選考して入居させることができる。このケースは、緊急時に該当するのではないかと。

**建設課長** 議員の言われる事はご尤もだと思っておりますので、検討したい。

**鎌田議員** 応募者には様々な事情があると思う。今後は、実情を調査し、緊急度の高い方については、優先的に入居できるように配慮してもらいたい。

## 脳脊髄液減少症

**鎌田議員** これは、交通事故やスポーツ外傷、転倒等が原因で、脳脊髄液が漏れ、頭痛や首・腰の痛み・吐き気などを引き起こす病気である。これに関して、文科省から「学校におけるスポーツ外傷等の後遺症への適切な対応について」という通告が出されているが、教育委員会の対応をお聞きしたい。

**教育長** まだ医学的な説明が十分進んでいないという内容ではあったが、県教育委員会を通じて市にも通知が来ていた。

**鎌田議員** まだ、認知度が少ない病名であるため教職員、養護教員はしっかりと研修してもらいたい。

い。また、公共施設へのチラシ配布や、市報・ホームページにも掲載し住民への周知徹底をお願いしたい。

**市民健康課長** 今、厚生労働省でも研究をしているのが現状である。医師会等と意見交換し情報収集していきたい。

## 鳥獣被害

**鎌田議員** 豊前市の鳥獣被害について、現状と対策を聞きたい。

**農林水産課長** 平成21年度は、農業で約2156万円・面積22ha。林業で約2626万円・面積20haの被害だった。対策として、猟銃駆除は豊築猟友会に委託している。また、ワナ26基を設置し、今年度は大型ワナ7基を購入し捕獲している。その他、海苔網や簡易なフェンス、廃材ボード等で防止柵を作っている。

**鎌田議員** 平成20年2月に鳥獣被害防止特措法が制定され、鳥獣被害防止計画や鳥獣対策実施隊を作るようになってきているが取り組みはどうか。

**農林水産課長** 今年度、鳥獣被害防止計画を作成したが、実施隊はまだ作っていない。

**鎌田議員** 鳥獣駆除していくよりも、共生を求めてはという考

え方もあるようだがどうか。

**農林水産課長** 現実的に難しいところがある。市としては、防護柵・電気柵等で、鳥獣等の生息圏と人間の生活圏とを仕切りたいと考えている。

**鎌田議員** 被害の多い地区は、市が指導して協議会など組織を作り、鳥獣対策を考えていくことをお願いしたい。ある自治体では、捕獲した肉を加工する施設を造り、商品化しているようだ。これについても、ぜひ検討してもらいたい。



# 健友会 の質問

## 買物弱者についての 市の対応

**古川議員** それぞれの地域にあった小売店が、年々閉鎖され、

交通手段を持たない高齢者にとっては、大きな問題になっている。国は、そうした買物弱者を支援する事業を行う動きがあるが、市の考えはどうかか。

**まちづくり課長** 市としても、商店街連合会や商工会議所と連携をしながら、熱心に取り組もうとする事業者を支援していきたい。

**古川議員** 国のこの事業は、3分の2が国の補助で、残り3分の1が事業主負担となっているが、商店街もかなり疲弊している。市がいくらか助成をする意思があるか、お尋ねしたい。

**市長** 地域の商業関係も厳しい状況にあるので、行政支援など役割分担を考えたい。

## 定住自立圏

**古川議員** 定住自立圏構想は、生活圏域を共有する地域同士が自治体の枠を超えて柔軟に連携し、住みよいまちづくりを目指すものだが、今のところ、バス事業くらいしか進んでいないように思われる。その他についてはどうか、お尋ねしたい。

**総合政策課長** 定住自立圏構想は、概ね5年をめどに共生ビジ

ヨンを策定している。バス事業者の福利厚生、観光振興、広域道路網の整備、自治体職員の向上に向けた研修や人材交流の推進などがある。

**古川議員** この定住自立圏構想の中で、豊前市内からも中津市内の県立高校に入学できるように働きかけをしてはいかがか。

**教育課長** 福岡県は学区制が採られているが、大分県は県下どこからでも入学できる。県境を越えての入学には両県の協議も必要であるので、今後とも関係機関と協議をしていきたい。

**古川議員** 吉富中学校に通っている三毛門の生徒は、大分県の県立高校に入学が可能だ。同じ豊前市内なので、ほかの地区の子どもについても平等に機会が与えられるようにしてほしい。

## 県営伊良原ダムの再検証

**尾家議員** 平成9年には、市の人口は3万人を超えていたが、今では約2万7700人になっている。さらに10年後には、2万4200人になるという推計も出ている。水道水が余るのではないか。

**上下水道課長** 市の人口は減っ

ているが、水道を使用する給水人口は毎年増えている。

**尾家議員** 今の状況で、伊良原ダムが完成すれば、さらに企業団から水を購入しなければならぬが、そうすると、水は益々不要になるのではないか。

**市長** 水の確保は継続して進めていく。相談に来る企業や水が必要な企業もあり、概ね可能性はあるとみている。

## 消防団配属の消防車

**尾家議員** 分団長会議で、1つの分団に2台以上消防車があるところは、1台をポンプ車にして、他は軽の積載車にすると決まったとのことだが、根拠は何か、お聞きしたい。

**総務課長** 軽の積載車も小型の積載車も機能的には変わらないので、経費も考慮して軽にしようということになった。

**尾家議員** 今後、少子高齢化が進む。人口に見合った消防車の適正配置が必要ではないか。また、豊前は、道が狭いところが多いので、ポンプ車よりも小型の積載車の方がいいのではないか。

**市長** この件は、すでに分団長会議で協議済みだ。状況が変化

すれば別だが、決まったことは粛々と執行していきたい。

## 道整備事業の進捗状況

**吉永議員** 国の道整備交付金事業で、市は道路整備を行っているようだが、用地買収が思うようにはかどらないところもあるようだ。市としての対応をお聞きしたい。

**建設課長** 平成19年度から23年度までの5か年で、23路線を整備する予定だが、そのうち3路線については地元調整が難航している。これについても地元と協力しながら継続して進めていきたい。



四郎丸～野田線

**吉永議員** 石でできた橋がまだ

残っているが、危険だと思わうので、架替えをすべきと思うが、いかがか。

**建設課長** 現在、橋梁の調査を行っているが、危険な橋については架け替えたいと思う。用地買収を伴う場合もあり、地元の了解を得ながら、早期にやりたい。

**吉永議員** 小規模の道路改修事業は、地元施工でお願いするということが多いが、こういうやり方は他の市町村でもやっているのか。

**建設課長** 他の市町村もやっていると思う。

## シルバー人材センター事業

**吉永議員** 国は、事業仕分けの中でシルバー人材センターへの補助金を減額する動きもある。シルバー人材センターは収益を求めて運営しているわけではないので、もしそのようなことになれば、運営できなくなる事態にもなりかねない。市の考えはいかがか。

**市長** 国の方針はまだ流動的であるので、状況に応じて相談していきたい。

**吉永議員** 今後、話し合いをさせていたいただきたい。

## 図書館事業

**吉永議員** 教育委員会を図書館で開催したと聞いたが、教育委員会では、図書館の運営や経営についてどのように考えているか、お聞きしたい。

**教育課長** 10月に教育委員会を図書館の会議室で開催したときに、指定管理者から運営について報告を受けた。4月に新しい図書館へ移転したが、その前は準備や整理でその対応に追われた。今後は一層サービスを力を入れていきたいということであった。また、その翌月の教育委員会では、図書館の管理運営については、指定管理者制度を継続したいという結論になった。

**吉永議員** 図書館は、他の施設と違い、使用料などの収入がなく、高い倫理性や専門的な能力が求められるので、基本的には直営でやるべきと考えている。やり方を工夫すれば、経費節減もできるのではないかと思う。

ここに掲載した一般質問は、実際のやりとりのごく一部です。詳細については、会議録（議会事務局またはホームページ）をご覧ください。

# 委員会 視察研修を 実施しました

## 総務委員会

平成22年8月19日～20日に神奈川県綾瀬市と東京都稲城市で視察研修を実施しました。

綾瀬市では、産業建設委員会と合同で「商業施設への市有地の貸付け」について研修しました。綾瀬市には、駅が全くなく、中心市街地といえる場所がなかったため、旧市役所跡地に大型商業施設を誘致したということでありました。稲城市では「事業仕分け」について研修しました。稲城市は、厳しい財政

状況のも  
と限られ  
た財源を  
有効活用  
し、より  
一層効果  
的・効率  
的な行政  
運営を推  
進するた  
め、事業  
仕分けを  
実施した  
というこ  
とであり  
ました。



## 産業建設委員会

平成22年8月19日～20日に神奈川県綾瀬市と神奈川県三浦市で視察研修を実施しました。

綾瀬市の視察内容については、上記の総務委員会を参照してください。



三浦市では「まちづくり条例」等について研修しました。三浦市は、まちづくりにおける市・市民・事業者の責務を明らかにし、市民が積極的にまちづくりに参加できる仕組みや、開発事業の手続きなどを定め、総合計画や都市計画マスタープランが指すまちづくりの実現に寄与するため、条例を制定したということでありました。

## 文教厚生委員会

平成22年11月16日～17日に京都府長岡京市と京都府京田辺市で視察研修を実施しました。

長岡京市では、「学校支援地域本部事業」について研修しました。長岡京市は、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えるため、この事業を実施したということでありました。

京田辺市では「環境基本計画」について研修しました。京田辺市は、地域社会の環境課題に対応すべく、市民・事業者・市の三者が一体となって環境施策を計画的に進めるため、計画を制定したということでありました。



## 編集後記

この一年を振り返ると、一番に思い出されるのが猛暑の夏だ。近年の気候の変化に、不安を覚えるのは私だけではないかも知れない。

政権交代から一年余りが経過した。景気回復、国民負担の軽減等、選挙公約が守られていない。国も地方も財源の確保に悩んでいるのが現実だ。

今年の春は統一地方選挙だ。地方が自立できるか、できないか、地域で議論を始めなくてはならない気がする。麻生渡知事は勇退を表明している。県民に大きな希望を提供していただいたことに感謝したい。

卯年の2011年、飛躍の年と皆が口をそろえる。旧知の友は、「景気が上向いた。」と実感している。市民一人ひとりの夢が一つでも叶う、そんな一年であってほしい。

山本 章一郎

## 次の定例市議会 は3月です

### ■ 議会を傍聴しましょう ■

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

### ■ 会議録閲覧のお知らせ ■

議会だよりの内容は、議会の様子を要約したものです。会議の詳細を知りたい方は、総務課・議会事務局にある会議録をご覧ください。

また、豊前市のホームページにも「会議録」を掲載していますので、ご覧ください。

市議会だよりの内容は、資源保護のため再生紙を使用しています。

◆ 発行：豊前市議会 ◆ 編集：編集委員会 ◆ 印刷：上森印刷所

編集委員 | 委員長 山本章一郎 / 副委員長 鎌田晃二 / 委員 今本文徳・岡本清靖・福井昌文